

私たちは真心の医療と福祉を通じて、地域の人々に貢献します

衛生食の基本方針

私たちは地域に密着し安心して医療・福祉を受けられる病院・福祉施設を目指します。そのため次に掲げる項目に取組みます。

1. 地域の人々から信頼され安全で質の高い医療体制の構築と真心の医療サービスの提供
2. 地域連携の充実による地域完結型の医療サービスの提供
3. 高齢化時代に対応するための福祉施設の充実と真心の福祉サービスの提供
4. 予防医療に対する健診・指導の充実と地域健康教育活动の充実
5. 受診される皆様の権利の尊重

消化器内科

消化器疾患の検査や治療について

消化器内科 部長 赤木琴江



平成25年9月1日より消化器内科に勤務することになりました。担当は、食道からおしりまでの消化管と、肝臓、胆のう、胆管、膵臓です。

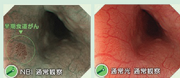
消化器疾患は、早期に正確な診断を行うことが大切ですが、そのために重要な内視鏡検査は苦痛が少なくなく、敬遠されることもしばしばです。当院では、薬に検査を受けて頂くことを目指し、「希望の方には鎮静剤・鎮痛剤を用いた検査を行っています。」

①食道がんは、すぐに顔が赤くなる常習飲酒家は要注意です。鍛えて飲めるようになって

た人はより危険です。顔が赤くなる人は、飲酒時に発がん物質であるアセトアルデヒドの分解が遅く、体内にとどまり食道を攻撃するため、

食道がんになる確率が高まります。

50歳以降の飲酒習慣のある方は定期的な内視鏡検査が大切です。



右では分かりにくい

すが、左の特殊な光で見ると、食道がんが見つかります。この段階で見つければ、完全に治すことが出来ます。

②ピロリ菌は「存じずすよね」

50歳以上の感染率は80%です。ピロリ菌感染により、慢性胃炎や、胃潰瘍、十二指腸潰瘍などの病気が発症する可能性が高まります。

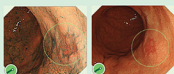
WHO(世界保健機関)は、「ピロリ菌は、確実な発がん因子」と認定しました。これは、タバコやアスベストと同じ分類に入ります。

ピロリ菌の感染が長期間にわたって持続すると、胃の粘膜がうすくやせてしまう、「萎縮」が進行し、胃がんを引き起こしやすくなります。

胃炎や潰瘍のある方は、保険適用でピロリ菌の検査・除菌療法を行うことができます

2ページ目へ続く

ので、検査をしてみてください。
また早期胃がんは症状がないので、定期的な内視鏡検査が大切です。



この段階で見つければ、
内視鏡的に切除できます。

③大腸がんは増えています。
検診で行われている便潜血検査(2日法)では早期がん、進行がん、将来がんになる可能性のあるポリープを含めると約40%近くの見逃しがあると言われています。

ポリープは40歳以降に多

くみられ、高齢になるほど増える傾向にあります。がんやポリープは小さいうちはほとんど無症状ですので、定期的な検査が大切です。



小さいうちは内視鏡
で切除できます。

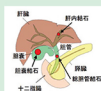
④胆石(胆のう結石)って。

胆のうや胆管に石ができて、痛みなどをさまざまな症状を引き起こします。特に飲酒後や脂っこいものを食べた後に、上腹部痛や吐き気、食欲不振を起します。

胆管結石は、胆のう結石よりも激しく重い症状を引き起こす場合があり、見つかった時点で内視鏡手術により石を取り出します。

胆のう結石があるのに症状がない「無症候性胆石」の

方も多くおられますが、石の刺激で胆のうの壁が厚くなったり、がんが発生する可能性もあるので、エコー検査などで定期的な検査が必要です。



胆のう結石は腹腔鏡で、
総胆管結石は内視鏡で
取ります。

いろいろお話しましたが、おなかのことで気になることがありましたら、ちょっとしたことでも構いませんので、一度相談にいらして下さい。
また症状がなくても、ここ数年以上、胃や腸の検査をしたことがないという方は、ぜひ一度検査を受けることをお勧めします。がんは早く見つければ怖くありません。



敬老の日

「敬老の日」記念行事 について

リハビリテーション科 主任
上遊千裕

9月14日(土)「敬老の日」記念行事を開催し、44名の方がお越し下さいました。

整形外科 北田医師による「骨粗鬆症について」の講演では、「命を支える骨の大切さがよく分かった」「骨密度の検査を受けた」とのお声もありました。

その後、職員による演奏会では、皆さんに聞いていただくだけではなく、一緒に歌ってもらい楽しい時間を過ごしました。

毎年、敬老の日の前の土曜日に記念行事を開催していますので、是非ご参加ください。



写真右【講演会の様子】

写真左【演奏会の様子】

健康たかつき21 「市民医学講座」

た。講演後の質問コーナーでは、多くの質問が寄せられ2時間がとても短く感じられました。高槻市は健康に関心をお持ちの方が非常に多く、今後も積極的に参加させていただきます。

高槻市・高槻市医師会主催で、「健康たかつき21 2013年度市民医学講座」が高槻市立生涯学習センターにて、9月と10月に2回ずつ計4回開催されました。

「こんな症状に要注意」を注意したい初期症状」をテーマに、第2回目を院長の新井医師が「脳梗塞について」、第4回目を脊椎脊髄外科センター長の長谷医師が「脊柱管狭窄症について」講演を行いました。

会場には席を埋め尽くす程の沢山の方が参加され、熱心に講演に聞き入ってメモを取られています。



認定看護師の紹介

看護副部長
藤原裕子

ています。また、資格取得者は、2013年7月で12522人です。全国では、毎年平均1千数百人の資格者が増え続けています。

認定看護師制度は、1995年に日本看護協会の認定委員会のもとに発足しました。まず、この制度は特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる認定看護師を社会に送り出すことにより、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上を図ることを目的としています。

現在特定されている分野は、救急看護、感染管理、がん性疼痛看護、緩和ケアなど21の分野に及んでいます。

に願っています。



みどりヶ丘病院では、患者さまや地域の方々に向けた「糖尿病教室」等の教室を開いたり、定期的にイベントも行っています。

ご案内は、病院内掲示板でのポスターやホームページの「教室カレンダー」に詳細を掲載しておりますので、関心をお持ちの方は是非ご参加下さい。

詳しいお問合せは、病院(072-681-5717)までご連絡下さい。

院長コラム

地域医療とアベノミクス

院長 新井基弘



先送りすべきとする考えもあり、最終的には安倍首相の判断に委ねられています。

いずれにせよ、医療機関の経営のみならず、国民生活全体に大きな影響をもたらす問題であることには間違いありません。

みどりヶ丘病院では、以前より救急医療を重点に置き、地域の皆様をサポートして参りましたが、ここ数年間、腹痛の方の救急対応ができない事がありました。

9月から新任の消化器内科部長、赤木医師が着任し、消化器疾患の救急対応にも適切な処置・検査を行う体制が整いました。

また、麻酔科救急科兼任の岡田医師の着任で、より多くの救急患者の受け入れが可能となり、救急医療のレベルアップが図られています。今後、さらに質の高い医療が提供できるものと期待しています。

近頃、災害の悲しいニュースがあとを絶ちません。各医療機関は大規模災害により、地域にもたらされる災害の規模と病院の被害状況に応じた適切な速やかな対応が必要です。

みどりヶ丘病院は、高槻市の災害拠点病院の一つに指定されています。他の関係諸機関と連携し、具体的な内容で話し合いを進め、災害訓練、いざという時に備え顔の見える関係を築いています。今後もソフト・ハード両者の充実に努力していきます。

最後に、今後も地域の診療所や病院などの医療機関と、さらに密接な連携および支援に取り組み、地域の皆様に信頼される病院として、良質な医療を提供して参りますので、ご支援とご協力をよろしくお願いたします。

関連施設の紹介

社会医療法人 祐生会	みどりヶ丘訪問看護ステーション	高槻市西真上1丁目35番17号	TEL072-681-5605
	サテライト柱本	高槻市柱本1丁目1番8号	TEL072-668-5522
社会福祉法人 みどりヶ丘会	みどりヶ丘ホームヘルプステーション	高槻市西真上1丁目35番17号	TEL072-681-7099
	みどりヶ丘ケアプランセンター	高槻市緑が丘1丁目6番2号	TEL072-681-5794
	みどりヶ丘ケアプランセンターつかはら	高槻市塚原4丁目7番1号	TEL072-697-0037
	みどりヶ丘介護老人保健施設	高槻市宗佐原4丁目7番1号	TEL072-692-3111
	グループホームみどりヶ丘荘	高槻市宗佐原4丁目7番1号	TEL072-692-3287
	みどりヶ丘デイサービスセンター-川西	高槻市川西町1丁目33番12号	TEL072-686-3451
	グリーン特別養護老人ホーム	高槻市宗佐原4丁目7番15号	TEL072-690-3331
	グリーンケアハウス	高槻市宗佐原4丁目7番3号	TEL072-690-3561

編集後記

広報委員会より

女子サッカーの「スペランツァFC大阪高槻」のジョブパートナーとなり、初めて女子サッカーに触れる機会ができました。実際スタジアムで見ると女子とは思えない真剣なプレーに感心し感動します。私たち職員も高いプロ意識を持ち、人に感動を与えられるような医療を目指すには、彼女達から学ぶ事が沢山あると感じています。